

奨学生申込書

2018 年 10 月 1 日現在奨学金を受給していますか。 → はい ・ いいえ

「はい」の場合は、期間を記載 → (20 年 月～20 年 月まで)

氏名	カタカナ		当財団奨学生経験 有 ・ 無
	パスポート 記載の英文		性別 男 ・ 女
	母国語 での表記		年齢(2018 年 10/1 時点) 歳
生年月日	年 月 日	日本在留年数 (延べ)	年
E-mail Address	@		
電話番号	() —	国 籍	
現住所	〒	最寄り駅 線 駅	
在籍(進学) 大学又は大学院	2018 年 10 月 ・ 2019 年 4 月 現在 (どちらかに○をつけてください)		
	☐ 大学 ☐ 大学院 ☐ 在籍 ☐ 進学		☐ 学部 ☐ 修士 () 年 ☐ 博士
	☐ 学部 ☐ 研究科		
	☐ 学科 ☐ 専攻		入学年月・編入年月(どちらかに○をつけてください) 年 月
	指導教員名		卒業予定年月 年 月
修学使用言語	日本語 ・ 英語 ・ その他 (語)		
専攻分野分類	人文科学 ・ 社会科学 ・ 理学 ・ 工学 ・ 農学 ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他		
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):	電話 () —	
	担当者名	FAX () —	
	住所 〒		
提出資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有 ・ 無	(大学院生) 研究実績 有 ・ 無	

申込日 2018 年 月 日

【受付番号票】(学校名、氏名を記入のこと)

申請学校名	氏 名 (カタカナ)
	様

奨学生申込書を 番で受付けました。

受付年月日

履歴書-1

別紙②-1/2(自筆)

氏名(カタカナ):

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金 受給
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・中退	有／無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入								
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (在籍状況)				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資格・免許	受賞歴		特技					
語学力					過去における日本の在住履歴			
(日本語) 日本語以外で修学している学生は、日本語への取り組みを必ず記入すること			(英語)					
			(その他語学力)					
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須					所属する教育支援プログラム名			
推薦状(別紙③)を依頼した方との「関係」と、その「理由」								

【記入の注意点】

- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること

履歴書-2

氏名(カタカナ):

- ・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること
- ・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験
	配偶者					
	子供					
	父					
	母					
	兄弟姉妹					
経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無			年額 円
		アルバイト、その他給与(内容:)				月額 円
	配偶者の収入	勤務先 () 仕事の内容 ()		月額 円		
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額	
		名称		年 月 ~ 年 月	月額 円	
		名称		年 月 ~ 年 月	月額 円	
	住居	賃貸住宅・寮・その他 ()		一人住まい・()人住まい	自己負担額 月額 円/人	
年間授業料	円 授業料免除の有無に関わらず、進学先大学の年間授業料を記入ください。					
過去4年間に受給した「奨学金」および「研究助成金」、「授業料免除」の実績(名称・受給期間・受給総額)						
年	奨学金・研究助成金			授業料免除		
	名称	期間	総額	期間	免除額	
2018			円		円	
2017			円		円	
2016			円		円	
2015			円		円	
奨学金および研究助成金の実績を上記表で書き足りない場合は、こちらの欄に記入ください。						
併願状況 (奨学金に類するもの全て記入)	申請先				結果発表月日	
					月 日 発表	
					月 日 発表	

推薦状

記入者	学校名	所属
	職名	連絡先(TEL)
	氏名(署名) 印	記入日 年 月 日

下記の学生を、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の奨学生に推薦いたします。

学生氏名

1. 学業面

[illegible]

2. 人物面(長所、短所を含む。)

[illegible]

3. この学生との関わりについて教えてください。なお、リサーチアシスタント等として採用している場合、採用した具体的理由も教えてください。また、契約終了時期も教えてください。

([例] 学部で社会学を指導している学生、経済的に困窮していたためリサーチアシスタントとして採用した学生)

※厳封にて提出願います。

※日本語以外での記入の場合は、和訳を添付してください。

※推薦状は選考において重視します。手書きでの記入を推奨しています。

評価書(博士課程の学生のみ)

学生氏名

これまで指導してこられた学生の中での相対評価として下記の数字を用いて空欄にご記入ください。

5:大変優れている(上位 5%)	4:優れている(上位 10%)	3:平均以上(上位 25%)
2:平均的(中間)	1:平均以下(50%以下)	

- ①研究者としての適性
探求心が強く、自発的に研究を進めると同時にリーダーシップを発揮する。

②研究者としての能力
高度な実験技術や正確なデータ収集力及び分析力、論理的な文章力、プレゼンテーション力がある。

③発想の独創性
当該分野の研究を大きく前進させる着眼点や発想がある。

④研究者として特記すべき秀でた能力があればご記入ください。

⑤当該学生の博士号取得の見込み時期及びその可能性をご記入ください。

⑥博士号取得の要件をご記入ください。

※推薦状記入者と同じ方がご記入ください。(厳封にて提出願います。(ホチキス留め不要))
※但し、他大学に進学するため、推薦状記入者が⑥を記入できない場合は空欄で構いません。

